

評価の総括 ～ 主会場選定（案） ～

前 の各候補地の比較検討および意見集約（評価）を踏まえ、法令や整備上の課題など施設整備の実現可能性、国体の運営、国体後の利活用も視野に入れた「日常性」「将来性」「地域への貢献」「スポーツの推進」の視点から総合的評価を行い、以下に示す「主会場選定（案）」のとおり国体主会場として最もふさわしい地を選定した。

主会場選定（案）

1 第79回国民体育大会の開・閉会式場および陸上競技会場（主会場）

彦根総合運動場とする。

主な選定理由

- 「日常性」
 - ・ 地域住民の生活圏内にある。
 - ・ 国体開催後もいつでも、誰でも、気軽にスポーツに親しめる。
- 「将来性」
 - ・ 近隣に小学校・中学校・高校・大学が集積。
 - ・ JR駅から徒歩移動が可能。
 - ・ 名神高速道路ICからも近い。
 - ・ アクセスが良いため、継続的に多くの方が使える。
 - ・ 多目的な活用も見込める。
- 「地域への貢献」
 - ・ 観光資源や大学や商業施設との連携により地域経済の活性化につながる。
 - ・ 琵琶湖、彦根城を活かし滋賀の魅力を発信できる。
- 「スポーツの推進」
 - ・ 滋賀県のスポーツ推進を牽引してきている。
 - ・ 今後も滋賀県のスポーツ推進の中核施設として機能強化を図れる。

主会場施設整備に関する意見

- ・ 敷地の拡張や地盤整備、法規制への対応などが必要。
- ・ この対応には、県は地元彦根市との連携、協力が必要。
- ・ 施設整備にあたっては、彦根市とその周辺地域の歴史性、文化性との調和への配慮が必要。
- ・ 施設整備の全体スケジュールに遅れが生じないように取り組まれない。

2 付帯意見

- ・ 希望が丘文化公園、びわこ文化公園都市は、本来のコンセプトや地の利などを活かすことで、より一層の活用が見込めると考えられることから、県においては、将来の滋賀県のスポーツ推進に向けて、それぞれのあり方や活用方法を検討されたい。